

## 「城と城下町の見て歩きのポイント」

理事 吉川 仁

NHK テレビのEテレで以前放送された「趣味どきっ：おとなの歩き旅」からご紹介します。

### 1. 城の見方

#### ①まず城の周りを歩いてみる。

角度を変えて見ることで天守の有無（天守と石垣のある城は、織田信長の時代からで秀吉や江戸期の時代も反映して残っている。戦国時代の最盛期には3万から4万あった城が江戸時代の一国一城令で約3000から170程度に激減、明治の「廃城令」で取り壊され、第二次世界大戦の空襲で多くが焼失し、天守が現存している城は全国に12のみ）、天守や櫓が何重か、堀がどんな形でいくつあるか、門と馬出しの有無と形状、門の枡形、石垣、土塁など外観を見るとかなりのことが分かる。

#### ②ぐるりと回ると構成の変化で増築だとか、平和な時代の建物に建て替えられているのに気が付く。

#### ③ぐるりと回ることによって周りの山、川、池、街道等から守りの堅さが分かる。

#### ④門や建物に近づいたら瓦の家紋を確かめる。戦国期は国の攻防の結果城主が変わったが、江戸期は改易で城主が変わり家紋で分かる。

#### ⑤天守や櫓などの壁を見る。

黒漆板壁：秀吉は派手好みで高価で漆を好んで用い、有力な家来にしか許さなかった。  
白い漆喰：家康は安価で塗り替える必要の少ない防火に優れた漆喰を奨励した。

#### ⑥石垣の積み方で年代がわかる

野面積み（のづらづみ）：加工されていない自然石をそのまま使用する方法で古い秀吉頃まで

算木積み（さんぎづみ）：慶長期に完成 強度を上げるために隅に施された積み方で、直方体の石の長辺と短辺を交互に重ね合わせて積む。織豊期から江戸期

打ち込み接ぎ（乱積み）：打ち砕いて表面を平らにした石を積み、隙間に小石を入れて整える。

打ち込み接ぎ（布積み）：々、横にライン

が通るように積む

切り込み接ぎ（乱積み）：サイズや形の異なる石の表面を完全に加工し、パズルのように隙間なく積む。

#### ⑦窓の形状：格子窓、花頭窓（華頭窓、火灯窓）を壁には小さめに、唐破風や千鳥破風の下には大きめの窓を付けて明りを取るのと外の様子を見れる工夫をしている。古い城には「突き上げ戸」を設けて窓を開け閉めするものもある。

#### ⑧軍事施設なので内部は暗いもの。明るいところは後世の増築（月見櫓など）と考えられる。天守への道順にも敵をたたく仕掛けがあるはずなので、塀や壁などの弓や鉄砲の挟間の位置も見ておきたい。

### 2. 城下町の見方

城を中心に侍町、町人町、寺町と同心円状に広がっており、街道沿いにあるのが一般的。

#### ①町の名前に注目

加治屋町等の職種、大名町などで身分が分る

#### ②町家の共通点

間口が狭く奥行きが長い

二階建ての家がびっしりと並んでおり、城の様子が見えにくくしてある。

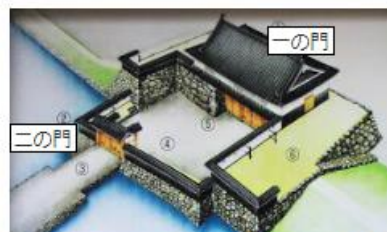
#### ③侍町と町家の境目には捨て堀とそれを掘った土で作られた土塁がある場合がある。

#### ④一国一城令と同時に城の補修や改修は出来なくなり、代わりに寺を移動して要所々を固め、いざというときは出城として使える。

#### ⑤戦国時代は町の道路も「食い違い」、「鉤の手」などの真っすぐでない仕掛けで城に近づきにくくしている。江戸期は行政庁として機能し、街割も整然としたものになっていく。

#### ⑥町の名物は城主が好んでいたものが多い。松本城主が出雲に移封されたとき長野のそばを広めたなど。

#### ⑦水利は土地ごとの特徴が現れるので、井戸や水路等もよく見ておこう。



外枡形の例

# 会員の活動

あいな里山公園の行事

シニアごとと創造塾主催で 8 月 23 日 (日)「玉ねぎの皮で草木染」のプログラムを開催しました。

コロナウイルス感染環境の中あいな里山公園の活動にも制約があり、三密を基本に感染防止対策の計画案を公園に提出し開催の許可を得ました。

まず受付では自家製の飛散防止のパネルを設置し、参加者にはマスク着用と体調の確認、検温とアルコール消毒の実施

スタッフはマスク フェイスガードで対応 テーブル 器具の消毒 換気のため四方を開放 エヤコン稼働しました。

最大の課題は室内でのソーシャルディスタンスの確保であります。幸い2m間隔に大きなテーブルが8台設置されておりフルで50人の収容ができますが、1回20人に制限午前午後に分けて家族ごとに区分けをしました。これらの対策を行い玉ねぎ染を開始しました。

あいな里山で栽培された玉ねぎを使用して煮出し、参加者が自由に絞りを入れた布を染色 水洗い 媒染液 の工程を指導者の指導の下で作業を行い ドキドキしながら布を広げ染め上がった作品を見て歓声を上げていました。



農作業はイノシシ 害虫 雑草 土壌改良との勝負

当会員6名であいな里山公園で野菜、米づくり、イベント 野菜販売 行事での食の販売等の活動をしています。

今回はあいな里山公園での野菜づくりのお話です。

約300坪の耕作地で主な栽培野菜は里芋 ジャガイモ 玉ねぎ サツマイモ ヤーコン 菊芋 カボチャ 冬瓜 伏見、万願寺白菜 水菜など多品種を無農薬で年間を通じて栽培しています。

米は約7畝の田んぼでうるち米と餅米を栽培

イノシシは土を掘り返す力が強く土中の芋類ミミズなど餌として畑を荒らします 防御策はトタンで囲む 防避剤 音 などありますが我々は電柵で対策をしています

害虫は無農薬で栽培しているため春から秋に向けていろんな害虫で被害が出ています。竹酢を噴霧し被害を低減しています。

雑草は一番の悩みで作業の大半は雑草取りです 除草剤は野菜にも支障があり使用できません。刈り取った草は堆肥として一部土に戻しています。

土壌改良 あいなな耕作地はもともと水田であり粘土質で野菜栽培には適していない事から、水はけの悪い土壌でした。毎年発酵牛糞を投入し、やっと野菜の耕作地らしくなってきました。

野菜づくりの楽しみは、種まき 水やり 施肥で日ごとに成長する姿と、収穫した野菜を食べることにあります。更に収穫した野菜をあいな里山でのイベントの食材と一部販売をしています。野菜づくりにご興味のある方はメンバー募集中ですお申し出ください。



# 会員のひろば

コロナウイルス感染で我々の生活形態も変化せざるを得ない状況が続いています。特に今回のような長期に亘る流行時の心の変化について注意が必要です。

どこにウイルスがあるか分からない、感染していないか、うつしてしまわないか、治療法がない、いつ終息するか分からないなど人によってさまざまに不安・恐れを感じます。

ウイルスに接触したと思われる人を避ける、嫌がる、遠ざける 攻撃的になる 自分勝手になってしまう 差別・偏見を持つようになる。

身体の反応は「ストレスがある」「つらい」と自覚する前に、身体の変化が先に出る人もいます。身体の不調はストレスの証拠かもしれません。

自粛疲れ については 人間は行動の自由が制限され続けると、特有の反応を起こします。「拘禁反応」と呼ばれます心の負担を軽くするために 不安をあおるようなマスコミの報道を見る時間を減らし、不安や興奮を抑えましょう。過度に情報を得ても、ご自身でできることは 感染拡大をさせないよう、心がけることです。

まったく家に閉じこもってコロナが去るのを待つのは精神上に影響があるように思います。たまには予防対策を取った行事運動に参加するのもストレス解消に役立つのではないのでしょうか。

(web 新型コロナウイルス感染症と 心理的な関わり - 東京医科歯科大学より抜粋)

シニアしごと創造塾の活動として、書道教室、陶芸教室、スマートホン教室の遊楽寺子屋を開催しています。

また新しくふたば学舎に「楽しく講座」講座があります。シニアしごと創造塾としてこの講座に参画しました。

内容として：

竹細工一輪差し 小物入れ カニ置物 11月14日(土)午後1時30分～3時30分 場所ふたば学舎 参加費 500円 材料費込み

11月22日(日)午後1時30分～3時30分牛乳パックで手すきハガキを作ろう  
(斎藤記)

へちまの水とり

理事 太田 克海

年を取ったのか死を前にした人の言葉に惹かれる。石寒太(いしかんた)【俳人の心に残したい季節の言葉】から下記の言葉に惹かれます。

9月19日瀬祭忌(正岡子規の命日)彼の人生の終わりの頃の俳句

糸瓜咲いて痰のつまれし仏かな  
痰一斗糸瓜の水も取らざりし

この句は小学校か中学校の教科書に出ていたような気がする。糸瓜をへちまと読める人も少なくなっただしょう。

日本ではこのような言葉は季語といい、季語辞典に記載されています。この本を読んでいると思わぬ言葉に出会います。

亀泣くや皆愚かなる村のもの (虚子)  
蓑虫鳴く、螻蛄(けら)鳴く、蚯蚓(みみず)鳴くが出ています。  
しかし枕草子(四十段)に蓑虫は「チチヨ、チチヨ」と鳴くと出ている。

この様な少ない話を集めながら、一人楽しんでこの頃です。



# 会員の活動

こんにちは 今(8月6日)世の中は大変なことになっていますね。元町三宮界限など空き店舗が多いですね。子ども達も行くところがなく退屈？私は映画が大好き人間、2回/月は見に行きます。これには弱っております。しばらくは映画観賞はお預け。暇で仕方なく本でも読んでみようと思書棚に目をやると読んでくれとばかりに少しはみ出した本がありました。この本のタイトルは、人生で大切なことは、すべて「書店」で買える。なんとも引き付けられる手に取って読みたいタイトルですね。思わず古本屋で何年か前に購入したものでそのうち読もうと積ん読状態のままの本でした。ここの一年本のことばかり本機関紙に掲載してきましたので、タイミングもいようなのでここでエッセンスをご披露しましょう。著者は次代創造館代表 イノベーションクリエイターの千田拓哉氏 日本実業出版社 ・お金持ちを目指すより時間持ちを目指す。結果として読書する時間持ちは、お金持ちになりやすい。・まずは圧倒的な読書量をこなしてから質にたどり着ける。質にたどりついたら更に量をこなしたくなる。・読書家に貧乏人がいないことだけは確か。貧しい時こそ本を買って知恵への投資をするべき。・読書をしてから実践すると成功率が桁外れに高まる。読書しない実践は時間の無駄。読書を軽く見るひとはスタートラインにも立っていない。・エグゼクティブに限って流行のベストセラーを読んでいる。リストラ候補に限って群がってベストセラーを批判する。・すばらしい小説は、すばらしいビジネス書。すばらしいビジネス書は、すばらしい小説。・本を読むスピードは気にしない。本を読むのが速い人と遅い人がいるのではない。本を読む人と読まない人がいるだけ。・漫画も堂々たる一ジャンル。漫画を読むことは立派な読書。堂々と漫画を読破し続けて極めてしまえばいい。・子どもたちは親がコソコソとやっていることに憧れる。大人が楽しそうに読むだけで、子どもは本好きになる。・オススメ本は自分にしか見つけることができない。運命の本を他人に求めるほどもったいないことはない。・できる人は文庫化までの時間を買っている。魚や野菜と同じように人間の好奇心や吸収力にも旬がある。できる人は文庫化までの時間と旬のチャンスを買っている。・本を読んでいると左右対称の顔になる。美男美女は左右対称の顔をしている。・人生から「納得できない」をいかに減らすかが大人の読書。納得するためには読書をして謙虚になるのが一番。まずはたくさん言葉のシャワーを浴びる。言葉によってしか、人はタフになれない。・

人に本をどんどんプレゼントして手放そう。その際、あなたはその本から最も多くを吸収している。・ベストセラーは読まなくても買う価値がある。プロは内容以外のすべてからも気づきを得る。・棚差し(本棚に入って背表紙だけ見せて圧倒的多数として陳列されている本)の地味な本こそあなたの運命の本。世界中で誰も知らない自分だけの運命の本に出合えるから。・2回立ち読みした本は買って置いて間違いない。他人に嘘はついても自分に嘘はついてはいけない。・あなたの本棚はあなたの将来の鏡。自己分析は本棚分析。・本を借りて読む人は、自分も一生使われて終わる。自腹で買って読む人は、人の上に立つ人になっている。・今読んでいる本の話を出逢う人にしてみよう。1年後、人脈は倍増している。・一人のときこそ絶好の読書チャンス。・悩み事が多い人はたくさん読書できる幸運の持ち主だ。・音読してみると新しい自分に出逢える。元気がなくなったら音読しよう。背筋を伸ばして音読すると生まれ変わる。・苦手な本を読むことは苦手な人と付き合うための予習。大好きな本に出逢うのも幸せ。・新聞だけに頼らず週に一度書店で世の中をつかむ。週に一度書店のベストセラーコーナーを眺めよう。「これから」を知るヒントが満載。文字量の少ない本を味わいながら読む。文字量の少ない本ほど内容が濃い。童話や詩集で天才の頭脳にじっくり触れる。・ベストセラーよりしばらく売れていない棚差し1冊。運命の本は、きっとそこにある。・著者の違う3冊を読んでもグンと深堀りできる。「好きな著者」「嫌いな著者」「初めての著者」・人間の脳はあなたが考えている以上に偉大。どんなに乱読しても睡眠中に情報を整理整頓してくれる。・本の帯から流行のエキスをいただく。本の帯はマーケティングのエッセンス。帯を買うために本を買うぐらいでちょうどいい。・ゆっくり読むと結果として速く読める。・カバーデザイナーを調べるとデザインの必然性が学べる。・その年のベストセラーから琴線に触れた一言をメモしておく。それはあなたを豊かにする。・本の買いすぎで貧乏になった人はいない。「前書き」の面白い本を選ぶ。いかがでしたか？本を選ぶ方法、本の魅力等々 この機関紙が皆様のもとに届くころ新型コロナウイルスが収束してくれることを祈りながら終わります。 廣岡敏正 記

美しい  
書票

